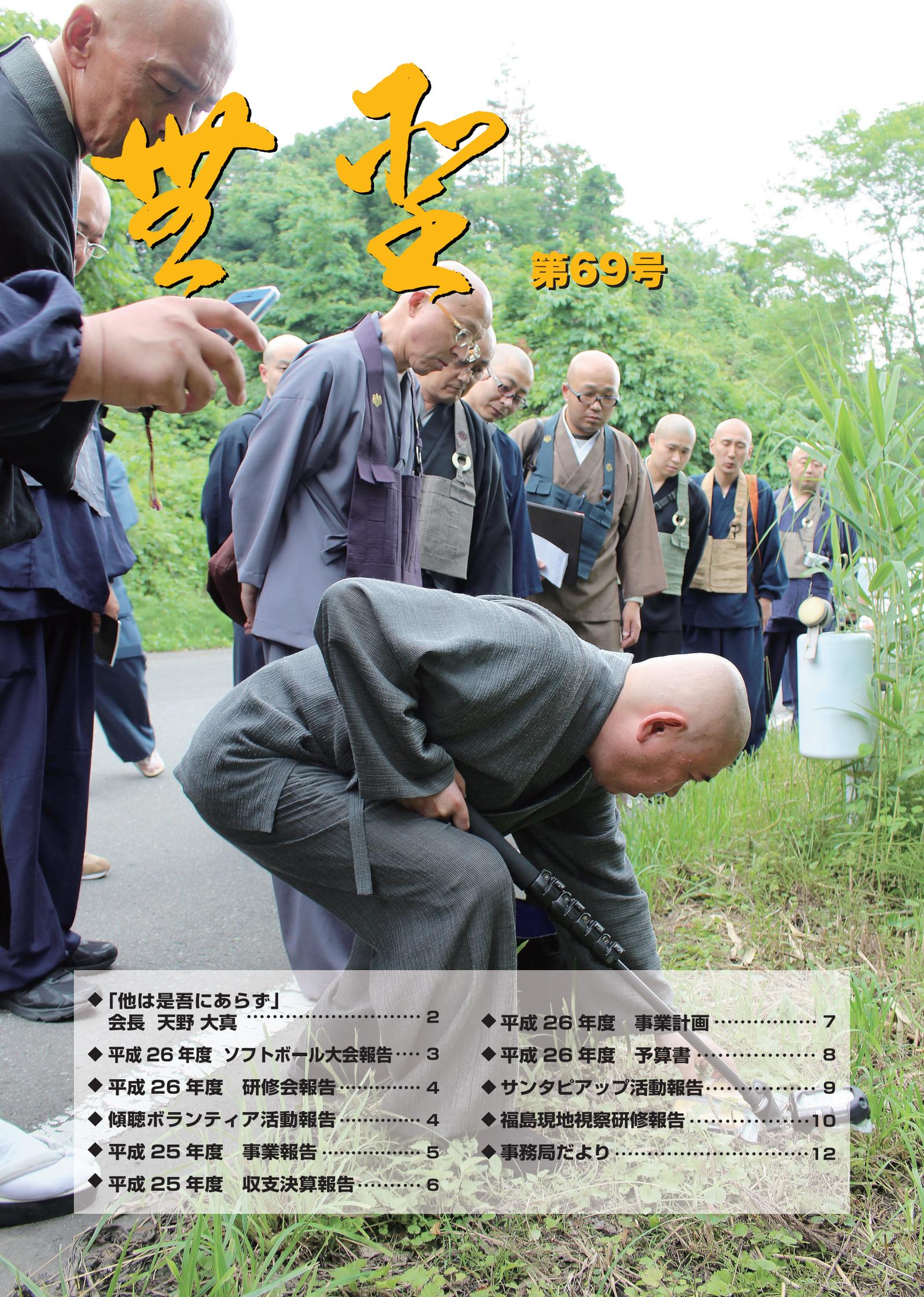


世報

第69号



◆「他は是吾にあらず」 会長 天野 大真	2	◆平成 26 年度 事業計画	7
◆平成 26 年度 ソフトボール大会報告	3	◆平成 26 年度 予算書	8
◆平成 26 年度 研修会報告	4	◆サンタピアアップ活動報告	9
◆傾聴ボランティア活動報告	4	◆福島現地視察研修報告	10
◆平成 25 年度 事業報告	5	◆事務局だより	12
◆平成 25 年度 収支決算報告	6		



会長挨拶

他は是吾にあらず

第23期会長 皆傳寺 副住職
天野 大真

昨年の四月に始動した第23期青年会も二年目の夏を迎えました。今期発足の総会の場で、「自己の研鑽と懇親の大変重要な場としての青年会」から、それ以上に「他の誰でもない、僧侶にしか出来ない活動が出来る組織としての青年会」を考えましょ、と皆様に呼びかけさせて頂きました。そして今期の委員会はまさにこの目標のもと、研修会を始め復興支援活動、被災地慰霊行脚、ホームページを通しての活動報告など、なみなみなならぬ熱意をもって取り組んでおります。

四年ぶりとなりました宮城県宗務所共催ソフトボール大会では、前晩から雨が降り続き当日朝まで開催が危ぶまれましたが、交流事業委員会による早朝からのグラウンド整備など、必至の努力の結果、三〇〇名を超える参加のもと大きなケガも無く無事終えることが出来ました。ご協力頂きました皆様にこころから感謝申し上げます。

またその一週間後には、三本木の天性寺様で第一回研修会が開催され、三十名を超える会員の参加がありました。大遠忌を来年に控え、峨山禅師様の足跡を学びつつ、我々僧侶としてのルーツである法の系譜について、渡邊了英老師より親切かつ興味深いお話を頂くことが出来ました。震災以来、多くの会員の皆様が、僧侶としてボランティアを行って参りましたが、その僧侶たる自分自身の根幹はどこにあるかということを考えさせられる研修会だったと思います。

そして六月十九日には、昨年から準備を進めて参りました福島視察研修を二十一名の参加のもと挙行させて頂きました。およそ一八〇kmの行程を一日でまわる駆け足での研修となりましたが、福島、飯舘村、南相馬市とそれぞれの土地に生きる方の、まさに今現在を語る言葉

を拝聴させて頂くことが出来ました。震災という恐ろしい自然現象を経験し、助け合い、励まし合い何とか生き抜いた我々にとつて、復興へ向かう日々は、決して自分自身の為だけではなく、自分の近所だけでもなく、まして自分の県だけのものではない筈です。「この状況、この現状を知って欲しい」という講師の方の声を胸に刻み、今後とも宮曹青として震災の復興支援をすすめて参ります。

次に当会が主管するサントピアアップみやぎボランティア会について、本年四月当会としては十七校目にあたります。テピアロン小学校を、十四名の会員の参加のもと無事贈呈して参りましたことを先ずして報告申し上げます。思えば、前々事務局長永松賢道師は事務局が津波により水に浸かってしまつという大変な災害に遭われながらも、自らを顧みずサントピアアップの活動を停止する事がなかったこと、そして、前期の坂本事務局長もまた復興支援に邁進するなか、被災地とカンボジアの交流を紡ぎつつ、新校舎贈呈の資金を貯蓄していくという、これらの大変な努力の連携があつてこそ、今回のカンボジア訪問となりました。また、今年度サントピアアップでは、活動の広報と教育支援資金調達を目的として卓上カレンダーを作成し販売致します。先日のご贈呈式の写真などをふんだんに使用し、ご贈呈などにも御利用頂けるよう作成致しますので、皆様にはこの度の企画につきまして何卒ご理解ご協力を頂ければと存じます。恒例のチャリティバザーにつきましては、三本木総合体育館を会場とし、十月八日の開催に向けて9教区御寺院様および青年会様のご協力のもと、準備を進めております。二十回という節目の回でもありますので、いろいろなアイデアを盛り込みながら、来場された方が楽しんで

でカンボジア教育支援に協力できるバザーを計画して参ります。

さらに今年度の宮曹青は、前期、復興支援活動の一つとして行われました『亡き人への手紙』事業を再開いたします。亡き人への思いの受け皿になることによって、少しでも心の重みが軽減されることを願い、多くの県民の皆様が亡き人との心の対話を呼びかけていきたいと思っております。

先日『宮曹青年の歩み』という創立十周年記念の冊子を目にする機会がありました。昭和四十四年に発足した当会の、大先輩の諸師の方々が、青年時代、多くの議論を交わしながら理想に向かつてひたすら前進しようとする姿がそこにはありました。そして県内の老僧、尊宿にたびたび苦言を呈されながらも青年僧侶の有るべき姿を模索する、現在とあまり変わらない青年会会員の姿に胸を打たれました。当時宮城方式とまで呼ばれるようになった緑陰禅の開催や、のちの古着キャンペーンやサントピアアップにつながっていく難民救済托鉢など、時代の潮流をしつかりと見据えつつ、ともに汗を流しながら僧侶の社会参加のあり方を問い続けた日々は、決して過去のものではなく現在もそして未来に亘って宮曹青の伝統として続いていくものと確信しております。そしてこれからも、新しいことに取り組むことを躊躇せず、常に未知なるものに関心をもって、自らが置かれた状況に対して積極的に働きかけられる意志を強く持つことを青年僧の正道と信じて、青年会活動を続けて参る所存です。

最後になりましたが、県内御寺院様、教区青年会様、会員各位、そしてすべて寺族の皆様のご理解ご協力を心から感謝申し上げます。そして今後ともなお一層のお力添えをお願い申し上げます。



平成二十六年ソフトボール大会

去る平成二十六年五月二十七日(火)富谷町総合運動公園グラウンドを会場に「宮城県曹洞宗 宗務所・宮曹青共催平成二十六年ソフトボール大会」が開催されました。

平成二十一年度以来の開催であり心待ちにされていた会員の方も多く過去最多の三十八名のご参加を頂きました。開会にあたり、宗務所副所長佐竹老師、宮曹青会長大野氏よりそれぞれ四年ぶりの開催にあたる今大会への想い、意気込み等を含めたご挨拶を頂戴いたしました。また、選手宣誓を務められた前田徳重氏(創寿苑チーム)の言葉には、今大会を通して我々が一丸となり、震災復興への力にしていきたいという熱い想いを感じ取ることが出来ました。試合は全二十チームが五グラウンドに分か



前回優勝の「創寿苑」チーム
前田徳重氏の選手宣誓



検討を讀えあう



初出場、初優勝!!「ベルコ」チーム



準優勝!!
「7教区・くさかや・佐藤新作石材店」合同チーム

れ予選リーグを行い、それぞれ上位二チーム、計八チームによる決勝トーナメントが行われ、見事初出場の「ベルコ」チームが優勝を掴みとりました。大会初参加の会員の方も多数おられました。皆、気迫溢れるプレーで試合に挑み、また今大会を楽しんでいる様子が大変印象的でした。当日は明け方まで雨が降りグラウンド状況が心配されましたが、交流事業委員会・事務局が早朝より準備を行い無事開催する事ができました。参加された皆様、運営スタッフ本当に疲れさまでした。

チャリティ募金総額 九、六〇〇円

(サンタピアアップみやぎボランティア会に)

全額寄付させて頂きました)



平成26年度 宮曹青第1回 研修会報告

「曹洞教団の歴史と峨山禅師」

講師：渡邊了英 老師

(天性寺住職 元大本山總持寺侍真)

平成二十六年六月五日、第九教区天性寺様を会場に第一回研修会が開催されました(参加者二十八名)。

来年、峨山禅師六五〇回大遠忌を迎えるに当り、峨山禅師についてお話頂ければと、大本山總持寺の侍真老師をお務めになられていた経験もある渡邊了英老師に今回の講義をお願い申し上げます。

最初に老師が語れた事は、侍真の職にいた時に、總持寺大衆の多くが自分の人法や伽藍法を知らない事実を目の当たりにした経験から、我々に人法・伽藍法の大切さを伝えていかなくてはならないという思いを抱いたという事でした。また、嗣法する際に多くの者が、血脈・嗣書・大事の三物と正面から向き合っていない状況を嘆いており、僧侶としての自分の歴史を知る事の大切さを説かれ始めました。人法・伽藍法の説明を、天性寺様を例に話され、各寺院住職の人法と伽藍法は一致しない場合がほとんどであることや、延亨年度本末帳という貴重な資料を我々の手に取らせて見せていただきました。また、瑩山禅師の時代の様相を詳細に説明いただき、曹洞宗系譜を見ながら曹洞宗教団の歴史を紐解くようにお話しいただきました。曹洞宗寺院のおよそ九割強は總持寺門流である事を、瑩山四哲、峨山二十五哲などの祖師の紹介に付随して説明され、東北や宮城県寺院と関係する人物の紹介、江戸時代に関東における曹洞宗の宗政を司った関三利の説明など、多くの要素を含んだ講義を頂き、宗門の歴史を再確認できた事は大きな意義があったと思います。



研修委員長 神作 紹道

傾聴ボランティア「仏一息ほっとひといき」活動報告

平成二十六年七月十四日、傾聴行茶活動「仏一息ほっとひといき」を二月の傾聴行茶活動でお伺いさせていただいた町北第三団地、役場前団地のほか、大森団地の三カ所にて行わせて頂きました。今回はお話ししの時間を多く取り入れながらも、リクエストに応じた卓上灯籠・うちわ絵・数珠作りを行いました。また夏の午後という時間でしたので、冷たい飲み物とラスクやお茶菓子をご用意させていただきました。

県婦人会様より五名のご参加もございました。また県婦人会様からの差し入れ、そして北村副会長の御縁のある団体より戴きましたチョコレートをお土産としてお配りさせていただきました。住民の方々はご不便な事などたくさんあるかと思われませんが、お話しさせていただくうちに我々にも多くの笑顔を見せて下さいました。

今回、行茶活動を行わせて頂くにあたり、寄り添う気持ちを第一に、心を落ち着かせ安心していただくよう心掛けました。さらに、今後も住民の皆様方に、我々青年僧としての活動趣旨をご理解頂きながら、仮設住民同士のコミュニケーションの場として、また住民の皆様のお抜き場として、これからも傾聴行茶活動を広めつつ、はじめての方にも足を運んで下さることを期待したいと思います。

現在 各仮設住宅団地に於いて、自治会が解散しているところも増えているとのこと。今後の傾聴行茶活動を行うにあたって、打ち合わせ、調整が難しくなる局面もあるかと思いますが、戴いたご縁を大事にして「仏一息」の活動を継続して参ります。

ボランティア委員長 小枝 誠智



■仮設町北第三団地

会員 7 名出席 住民 7 名参加

■仮設役場前団地

会員 7 名出席 住民 15 名参加

■仮設大森団地 (第三団地集会所)

会員 9 名出席 住民 26 名参加



平成25年度 事業報告 (関連事業も含む)

●宮城県曹洞宗青年会

月 日	事 項	会 場	備 考 1	備 考 2
平成25年				
4月8日	監査会	慶雲院(名取市)		
4月9日	役員会①	慶雲院(名取市)		
//	理事会①	//		
4月23日	定例総会	ホテルニュー水戸屋 (仙台市)		61名出席
//	合同委員会	//		51名出席
5月10日	プレス①発行			
6月14日	役員会②	福聚院(仙台市)		
//	理事会②	//		
6月30日	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	国分尼寺 (仙台市)		32名出席
7月11日	研修会「災害時に要援護者となってしまう方々を考える」	林香院 (仙台市)		35名出席
7月23日	プレス②発行			
8月2日	会報「無聖」67号発行	福聚院(仙台市)		
9月17日	カンボジア教育支援チャリティバザー	村田町中央公民館 (第5教区)	来場者460名	前日準備併せて179名出席
10月2日	役員会③	福聚院(仙台市)		
//	理事会③	//		
10月15日	プレス③発行			
11月12日	研修会「生きる権利を奪われた飯館村のいま」	林香院 (仙台市)		29名出席
12月17日	役員会④	ホテルグランテラス仙台区分町		
//	理事会④	//		
//	忘年会	//		37名出席
12月19 ~20日	カンボジアフェア	S E L V A (仙台市)		延べ29名出席
12月19日	プレス④発行			
平成26年				
1月28日	会員大会 第1部 ボランティア講演会 「歌うようにボランティア」 ~青年僧としてボランティア活動にどう関わるべきか~	ホテルグランテラス仙台区分町	正会員・特別会員	71名出席
//	会員大会 第2部 ボーリング大会	ボウルサンシャイン	正会員・特別会員	81名出席
//	会員大会 第3部 懇親会	ホテルグランテラス仙台区分町	正会員・特別会員	84名出席
2月24 ~25日	ハガキリサイクルキャンペーン	浄音寺 (石巻市)		延べ33名出席
3月25日	役員会⑤	福聚院(仙台市)		
//	理事会⑤	//		
3月31日	会報「無聖」68号発行			

※この他「三役会」「役員打合せ」を随時開催

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会 (地協)

平成25年				
4月4日	常任幹事会・定例幹事会	ワシントンホテル (会津若松市)		6名出席
11月19日	東北地方集会「福島大会」	郡山ビューホテルアネックス (郡山市)		11名参加

●全国曹洞宗青年会 (全曹青)

平成25年				
5月24日	全国曹洞宗青年会定期総会	東京グランドホテル (宗務庁)		5名出席
11月13日	全国曹洞宗青年会臨時総会	東京グランドホテル (宗務庁)		天野会長出席

平成25年度宮城県曹洞宗青年会収支決算報告

●収入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
I 会費収入	2,950,000	3,095,000	145,000	
1. 正会員	1,610,000	1,750,000	140,000	10,000円×175名
2. 賛助会員	610,000	635,000	25,000	5,000円×127名
3. 特別会員	730,000	710,000	▲ 20,000	10,000円×71団体
II 助成金	300,000	300,000	0	宗務所より
III 雑収入	3,440	200,192	196,752	利子 全国梅花大会加担謝礼
IV 繰越金	1,306,560	1,306,560	0	
合計	4,560,000	4,901,752	341,752	

●支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
I 会議費	210,000	176,000	▲ 34,000	
1. 総会費	50,000	50,000	0	定例総会
2. 理事会費	25,000	20,000	▲ 5,000	会場費
3. 役員会費	35,000	30,000	▲ 5,000	会場費
4. 委員会費	100,000	76,000	▲ 24,000	4委員会・事務局会開催費
II 事務費	1,250,000	1,100,113	▲ 149,887	
1. 消耗品費	100,000	24,050	▲ 75,950	事務用品、用紙代等
2. 通信費	600,000	584,514	▲ 15,486	郵送料、振込手数料、電話料
3. 印刷費	150,000	128,248	▲ 21,752	封筒印刷、プリンタインク代補助等
4. 備品費	150,000	155,001	5,001	ソフトウェア代、事務機使用料
5. 慶弔費	50,000	8,300	▲ 41,700	慶弔電報等
6. 事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III 事業費	2,100,000	1,689,289	▲ 410,711	
1. 研修委員会	300,000	258,089	▲ 41,911	研修会×2回 ボランティア研修会
2. ボランティア委員会	200,000	205,155	5,155	チャリティーバザー ボランティア研修会
3. 広報編集委員会	700,000	605,930	▲ 94,070	『無聖』発行×2回 HP管理費等 取材費
4. 交流事業委員会	100,000	60,615	▲ 39,385	会員大会
5. 教化費	150,000	0	▲ 150,000	
6. 事業諸費	200,000	150,000	▲ 50,000	旅費補助（全曹青・地協会議参加者）
7. 会員名簿作成費	450,000	409,500	▲ 40,500	第23期会員名簿作成
IV 負担金	230,000	220,000	▲ 10,000	全曹青・地協会費
V 予備費	450,000	40,425	▲ 409,575	ホテル会議室利用料（第4回役員会理事会）
VI 雑費	120,000	103,387	▲ 16,613	渉外活動費、各会議茶菓等
VII 繰出金	200,000	200,000	0	
ボランティア基金	100,000	100,000	0	ボランティア基金に繰り出し
特別事業準備金	100,000	100,000	0	特別事業準備金に繰り出し
復興支援活動金	0	0	0	
合計	4,560,000	3,529,214	▲ 1,030,786	

■特別会計決算書

ボランティア基金 1,050,179円

特別事業準備金 3,801,528円

復興支援活動金 1,712,991円

総収入 4,901,752円

総支出 3,529,214円

差引 1,372,538円

平成25年度の決算書を上記の通り提出致します。

平成26年4月22日 会長 天野 大真 ㊟

監査報告 平成26年4月9日、1教区福聚院様において監査を行い

平成25年度一般会計が適正に執行され、正確であることを確認いたしました。

監事 鈴木 俊龍 ㊟

監事 二階堂 法淳 ㊟

監事 岩崎 芳信 ㊟

平成26年度 事業計画

●宮城県曹洞宗青年会

月 日	事 項	会 場	備 考
平成26年			
4月9日	監査会	福聚院	
//	理事会①	福聚院	
4月22日	定例総会	ホテルニュー水戸屋 (仙台市)	
5月27日	ソフトボール大会	富谷町総合運動公園	
6月上旬	理事会②	福聚院	
6月5日	第1回研修会	9教区 天性寺	
7月7日	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	国分尼寺	サンタピアップ関係
7月10日	東北管区峨山禅師650回忌予修法要(加担)	松島 大観荘	
7月下旬	「無聖」69号発行		
9月12日	梅花県奉詠大会	仙台市体育館	サンタピアップ関係
10月上旬	理事会③	福聚院	
10月8日	カンボジア教育支援チャリティバザー	三本木総合体育館	
11月	第2回研修会	未 定	
12月上旬	理事会④	福聚院	
12月中旬	年次総会 忘年会	未 定	
平成27年			
1月下旬	会員大会	未 定	
2月中旬	ハガキリサイクルキャンペーン	未 定	サンタピアップ関係
未 定	移動研修会	未 定	
3月中旬	理事会⑤	福聚院	
3月下旬	「無聖」70号発行		
未 定	カンボジアフェア	未 定	サンタピアップ関係

※復興関連事業は被災地の事情等を考慮し適宜開催
 ※役員会・各委員会・事務局会は適宜開催

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会(地協)

平成26年			
4月10日	常任幹事会・定例幹事会	郡山ビューホテル	
10月29日	東北地方集会	秋田キャッスルホテル	

●全国曹洞宗青年会(全曹青)

平成26年			
5月20 ~21日	全国曹洞宗青年会40周年記念式典	東京グランドホテル(宗務庁)	
5月21日	全国曹洞宗青年会総会	東京グランドホテル(宗務庁)	
6月25 ~26日	全国曹洞宗青年会40周年記念事業 傾聴研修会	ホテル辰巳屋(福島市)	

平成26年度宮城県曹洞宗青年会予算書

●収入の部

単位：円

項 目	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
I 会 費 収 入	2,995,000	2,950,000	45,000	
1. 正 会 員	1,650,000	1,610,000	40,000	10,000円×165名
2. 賛 助 会 員	635,000	610,000	25,000	5,000円×127名
3. 特 別 会 員	710,000	730,000	▲ 20,000	10,000円×71団体
II 助 成 金	300,000	300,000	0	宗務所より
III 雑 収 入	2,462	3,440	▲ 978	利子、その他
IV 繰 越 金	1,372,538	1,306,560	65,978	
合 計	4,670,000	4,560,000	110,000	

●支出の部

単位：円

項 目	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
I 会 議 費	210,000	210,000	0	
1. 総 会 費	50,000	50,000	0	定例総会
2. 理 事 会 費	25,000	25,000	0	会場費
3. 役 員 会 費	35,000	35,000	0	会場費
4. 委 員 会 費	100,000	100,000	0	委員会・事務局会開催費
II 事 務 費	1,250,000	1,250,000	0	
1. 消 耗 品 費	100,000	100,000	0	事務用品、用紙代等
2. 通 信 費	600,000	600,000	0	郵送料、振込手数料、電話料
3. 印 刷 費	150,000	150,000	0	封筒印刷、プリンタインク代補助等
4. 備 品 費	150,000	150,000	0	ソフトウェア代、事務機使用料
5. 慶 弔 費	50,000	50,000	0	慶弔電報等
6. 事 務 諸 費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III 事 業 費	2,030,000	2,100,000	▲ 70,000	
1. 研 修 委 員 会	400,000	300,000	100,000	研修会 移動研修会
2. ボランティア委員会	300,000	200,000	100,000	チャリティーバザー、研修会
3. 広報編集委員会	780,000	700,000	80,000	『無聖』発行×2回 HP管理費等 取材費
4. 交流事業委員会	200,000	100,000	100,000	ソフトボール大会 会員大会
5. 教 化 費	50,000	150,000	▲ 100,000	
6. 事 業 諸 費	300,000	200,000	100,000	旅費補助（全曹青・地協会議参加者）等
7. 会員名簿作成費		450,000	▲ 450,000	
IV 負 担 金	230,000	230,000	0	全曹青・地協会費
V 予 備 費	400,000	450,000	▲ 50,000	
VI 雑 費	150,000	120,000	30,000	渉外活動費、各会議茶菓等
VII 繰 出 金	400,000	200,000	200,000	
ボランティア基金	100,000	100,000	0	ボランティア基金に繰り出し
特別事業準備金	100,000	100,000	0	特別事業準備金に繰り出し
復興支援活動金	200,000	0	200,000	復興支援活動金に繰り出し
合 計	4,670,000	4,560,000	110,000	

■特別会計予算書

ボランティア基金 1,150,253円

特別事業準備金 4,001,933円

復興支援活動金 1,240,265円

総 収 入	4,670,000円
総 支 出	4,670,000円
差 引	0円

平成26年度予算書を上記の通り提出致します。

平成26年4月22日 会長 天野 大真 ㊟

宮曹青主管カンボジア教育支援活動

サンタピアップみやぎ ボランティア会

平成二十六年「定例総会」報告

去る七月七日(月)、仙台市国分尼寺様を会場に「平成二十六年定例総会」・「カンボジアスタディツアー報告会」が開催されました。

本年度の事業としては、これまでの書き損じハガキと切手の収集、古本リサイクル事業などのほか、新規事業オリジナルカレンダーの販売などを展開してまいります。

平成二十五年年度のご報告

【学校建設事業】

(対象校:カンボジア王国バットアンバン州
デピアロン小学校)
一棟三教室新校舎・祠・トイレ・貯水設備の建設、図書・文房具・スポーツ用品の贈呈



【ご提供頂いた

書き損じハガキの枚数】

..... 一八、五〇八枚

【交換ハガキ売上金】

..... 一、〇七五、〇〇〇円

【古本・CD等の

リサイクル支援】

..... 九、六五五円

【寄付金総額】..... 一、四五四、五〇一円



〈当会オリジナル〉

『二〇一五年卓上カレンダー』製作・販売

多くの方々よりご要望をいただいておりますオリジナル卓上カレンダーの製作が決まりました。当会が二十年のあいだに現地カンボジアで撮影してきた数々の写真も掲載予定です。

●卓上カレンダー一部

三〇〇円

(ハガキサイズ・カラー十六枚組・ケース付)

・勉強机やパソコン机の上に

ひとつあると便利!!

・年末年始のお配りものとしても最適!!

●今秋より受付販売開始します!!

書き損じハガキ・切手・古本・CD・DVD

・ゲームソフトのご提供をお願いしております!

『古本・CDリサイクル』による支援

あの頃、大切にされたこの本をもう一度役立たせたい...

私たちにお譲り下さい!!

●皆様のご家庭にある、漫画や文庫本・CD・DVD・ゲームソフト等の買い取りを『BOOKS OFF』の宅本便(無料集荷)を利用し、インターネット上で依頼してご提供頂きます。

●ご提供商品の集荷をご依頼する際、商品の買い取り額の入金先口座を当会の口座に指定することで、当会への寄付(支援金)となります。

●ご提供下さった方には、後日お礼状と領収証を発送させていただきますので、お手数ですが当会事務局宛まで電子メール、又はお電話にてご提供者さまの発送情報をお知らせ下さい。

●ご提供下さいます方は、インターネットで「ブックオフ集荷」で検索・ご依頼下さいますようお願い致します。

指定口座『ゆうちょ銀行』

記号 18110

口座番号 05490731

名義 サンタピアップみやぎボランティア会

【書き損じハガキ・切手の送り先】

〒九八六〇一九九 石巻市相野谷字五味前二一七一

河北郵便局留『サンタピアップ』宛

【支援金の送り先】

郵便振替口座

名義 サンタピアップみやぎボランティア会

口座番号 0229016148744

【サンタピアップ事務局】

〒九八六〇三〇三

石巻市桃生町永井字仁田森二二 浄音寺内

TEL・FAX 〇二二五七九一三〇〇三(専用)

E-mail: info@santapi.com

ホームページ: http://www.santapi.com/

スタディツアーの様子などの動画もご覧下さい。

事務局長 加藤道賢

東日本大震災

〜あの日から〜

福島現地視察研修報告



ここではこれまで県内のご寺院様の復興への取り組みを取材して参りましたが、今回は隣県福島での現地視察研修の様子を報告します。震災の原発事故で発生した放射能問題。その問題と正面から向き合い、取り組む三名の方にお話を伺い、現地を視察して参りました。

飯舘村の除染作業の様子。村をバスで移動しながら視察

六月十九日(木)福島現地視察研修を参加者二十一名(正会員十七名、賛助会員四名)にて福島市、飯舘村、南相馬市を視察して参りました。昨年の八月から準備を重ね、満を持しての開催となったこの度の福島現地視察研修は、今期研修のテーマである「行って見て聞いて考える」の実践を目的としたものです。

当日九時に事務局を出発し福島へ向かう道中のバスの中では北村副会長より放射能に関する知識、今視察の意義、そして「観る」ことの大切さを参加者に説明がありました。配布された資料の中に福島県の僧侶、玄侑宗久師の言葉がありました。

『正しく恐れる』

自分勝手なものさしで判断して闇雲に恐れるのではなく、自ら学び最新の正しい放射能の知識に基づいて、科学的に客観的に理解し、その上で正しく恐れる。ただちよっと見ただけで、うわさを

聞いただけでそのまま鵜呑みにしてしまう。それが差別や風評に繋がる。

まさに我々が感じている目に見えない放射能の問題を言い得た言葉です。現地を「正しく観る」必要があると改めて思いました。



福島市 常圓寺住職 阿部光裕師 手にしているのは阿部師所有の高性能の線量計

最初に伺った福島市常圓寺様では、住職の阿部光裕師のまさに寝食を顧みず、率先して市内の除染活動に奔走する姿に胸を打たれました。

また、除染時に出る汚染土の保管を境内地に受け入れられておられるとのこと。様々な活動の根本は「人々が苦悩しているのに住職としてその苦しみを汲み取ってあげたい一心である」と仰っておられました。

さらに、市内のいわゆるホットスポットでの計測結果は高い数値を計測し、目に見えない放射能の怖さと、まさに阿部光裕師の仰るところの「(放射能は)溶けない雪」という言葉を実感しました。



常圓寺様の境内地に置かれた市内で出た除染土の保管場所にて説明を受ける



飯館村の除染土の仮置き場
長谷川さんは「仮置き場といってもそのまま置かれる事になるのではと危惧している」

次に、昨年研修会講師としてお招きしました行政区長の長谷川健一さんと共にした飯館村では、かつての素晴らしい農村風景はそこには無く、除染作業をすすめる作業員と、除染を待つ荒れ果てた農地がどこまでも広がっていました。すでに村を離れ三年が経つ現在、お年寄りまでがふるさとの村に帰るのを躊躇うという長谷川先生の言葉は、飯館村民の複雑な心境を感じずるに十分でした。また除染についても村民の大半が農業、酪

農に携わっている者なのに居住区だけ除染しても意味がないと仰っておられました。

最後に訪れた南相馬市 同慶寺様では、福島第一原発二〇km圏内の避難指示地域という大変な状況のなかで、お寺と地域の将来を住職である田中徳雲師に語って頂きました。良いと思った事はまず自ら実行するという師の一貫した姿勢と、社会問題等に対する積極的な働きかけは、社会のなかで生活する僧侶の生き方



南相馬市 同慶寺住職 田中徳雲師

について考えさせられると同時に、阿部光裕師にも通じる「行動」することが「未来」に繋がるということをご教授頂きました。

今回、およそ一八〇kmを移動しながらの駆け足の研修ではありましたが大変濃密な一日となりました。除染について講師三名とも政府、行政が進める形式的な除染方法に違和感を覚えておられました。そして講師の皆様が言われたのが「この状況、この現状を知って欲しい」ということでした。知ることから考え、選択、行動し、次の世代に繋げていかなければならない。

現地におもむき、そしてその土地に生きる方の言葉を拝聴させて頂いた結果、改めて「他人事ではない」という意識をあらためて感じずにはいられません。講師の方の声を、今後私たちはただ「話題」にするのではなく、自らの「課題」として今後も活動していくことを胸に刻み、今回の視察研修の報告と致します。

平成二十六年度正会員新入会員紹介

・1教区	鉤取寺
・2教区	都築 達明
・3教区	江巖寺
・3教区	我妻 俊道
・3教区	東雲院
・4教区	堀越 正知
・4教区	繁昌院
・5教区	丹羽 宣法
・5教区	東禅寺
・6教区	渡川 洋平
・6教区	真龍院
・8教区	齋藤 由堂
・8教区	皆傳寺
・12教区	天野 宏心
・12教区	延命寺
・14教区	木村 天真
・14教区	玉秀寺
・19教区	佐竹 大啓
・19教区	當行寺
・21教区	岡崎 素雄
・21教区	龍角寺
・21教区	赤間 良器

宮曹青正会員卒業の方々

・1教区	圓福寺
・3教区	三田村 秀範
・3教区	心月寺
・5教区	朴沢 光紀
・5教区	能化寺
・6教区	渋谷 親孝
・6教区	自照院
・13教区	錦織 泰禪
・13教区	梅溪寺
・15教区	本田 賢也
・15教区	慈眼寺
・17教区	佐々木 亮淳
・17教区	城皇寺
・19教区	氏家 栄宏
・19教区	正福寺
・20教区	三宅 泰宏
・20教区	西光寺
・20教区	森 孝史

平成二十六年度定例総会報告

四月二十二日(火)午後四時より秋保温泉ホテルニュー水戸屋において「平成二十六年度定例総会」が開催されました(出席者42名、委任68通)。議長には第六教区自照院 錦織誠道師が選出され、次の事案が慎重審議の上、承認されました。



- ①平成二十五年度事業報告
- ②平成二十五年度収支決算報告並びに監査報告
- ③平成二十六年度事業計画(案)について
- ④平成二十六年度予算(案)について
- ⑤その他

その他では東日本大震災復興支援活動報告があり今年度も継続して活動することも承認されました。

事務局だより

四十周年記念事業報告

去る五月二十日(火)二十一日(水)に全国曹洞宗青年会創立四十周年記念事業が曹洞宗檀信徒会館で行われ、会員六名参加いたしました。二十日の式典では第二期会長でもあります總持寺副貫主 石附周行老師に祝辞を賜りました。

シンポジウム式典では「全曹青四十年の歩み」(宗侶エネルギー再結集)をテーマにPV放映がありました。

二十一日には記念講演として、「たったいちどの生命をどう生きるか」を題として、愛知尼僧堂堂長 青山俊董老師を講師にとってもありがたいお話しを頂戴いたして、このような節目の事業に参加できたことにとっても光栄に思います。

事務局長記

大本山總持寺

二祖峨山禪師六五〇回大遠忌予修法要報告

去る七月十日(木)、「大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師六五〇回大遠忌予修法要」が「ホテル松島大観荘」を会場とし、大本山總持寺貫主江川辰三禪師御親修にて奉修されました。

当日は東北管区より約四百名の方々が参列され、当会からも研修委員会を中心に十五名が法要に随喜加担させていただきました。

法要後には清興として熊田かほりさんによる琵琶演奏が披露され、会場を盛り上げました。



カンボジア教育支援

第20回チャリティバザー開催のお知らせ

日時：平成26年10月8日(水)午後1時販売開始
※前日10月7日(火)午後1時〜物品搬入、会場準備
会場：三本木総合体育館
大崎市三本木桑折字沼下29番地2

20回の節目となる記念開催です。記念イベント等も企画しております。今年も会員皆様のご参加並びに物品提供、ご協力をお願い致します！

編集後記

五月に開催された四年ぶりのソフトボール大会では過去最多の参加者がありました。参加者の笑顔、会場の和やかな雰囲気は会員皆が待ち望んでいた事業と感じられました。青年会は震災以降、復興支援活動に注力して参りましたが震災以前の様な事業活動ができるようになったことはうれしいことです。様々な事業活動に対し無聖、HPが会の情報共有スペースになればと、これからも広報活動に精進して参ります。

(広報編集委員長 清水大伸)

表紙写真



福島市内
ホットスポットの
線量測定風景
[平成26年6月19日]



無聖 第69号 (平成26年7月31日発行)

表紙題字 宗務所長 三宅良憲 老師
編集 宮城県曹洞宗青年会
発行人 天野 大真
事務局 仙台市太白区門前町8-22 福聚院内
TEL・FAX 022-308-0043(専用)
U R L http://www.miya-sousei.com
e-mail info@miya-sousei.com